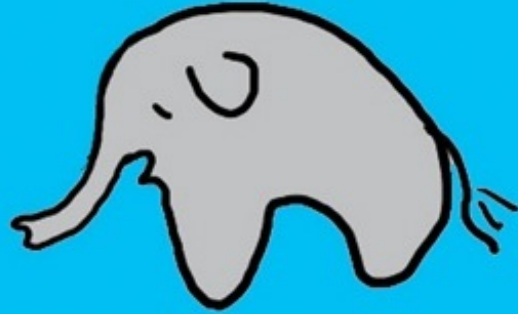
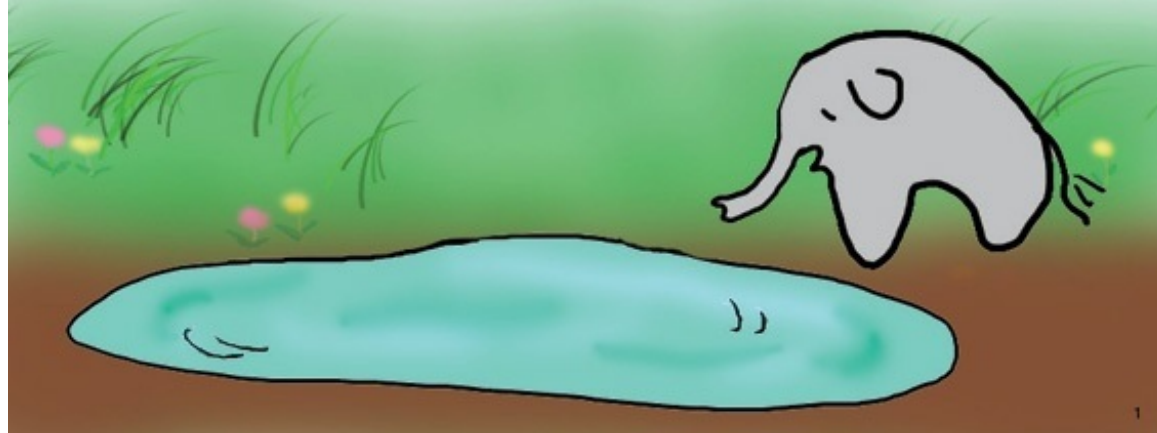


ぞうのピエール



え・ぶん なな

ぞうの ビエールは およぐのが だいの にかて。
きょうも ビエールは もりの プールで
およぐれんじゅう。
ところが・・・



からだか どんどん しずんでいって おぼれてしまいました。



やっとのことで もりのみんなに たすけてもらい
たずかりましたが
ピエールは えんえん なきだしてしまいました。



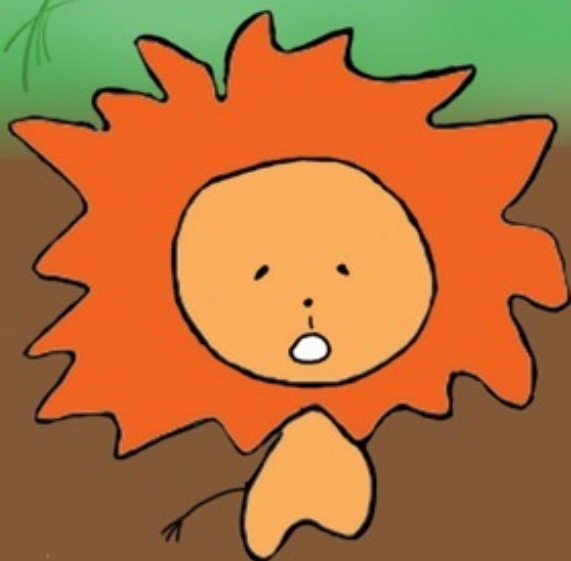
もりのみんなは ピエールが およげるように
なるために なにかできないか かんがえました。



ジェームスは みんなの はなしを きくと いいました。
「しおが ものすごく たくさん はいっている
うみで みんな ぶかぶか ういているのを
みたことがあるよ。
プールに しおを たくさん いれてみたら？」



するとライオンのトムが いました。
「ピエールは こわくて もう 水の中に
はいりたくない といっていたよ。
ピエールが フールに はいりたがらなかったら どうする？」



くまの ボールが いいました。

「じゃあ、まほうのフルって ことにしようよ。

ぜったいに おほれない まほうのフル！」



そして もりのみんなは ピエールのために
まほうのフールをつくりはじめました。
ちかくの しおやまから しおを たくさん はこんできて
どんどん もりのフールへ 入れていきました。

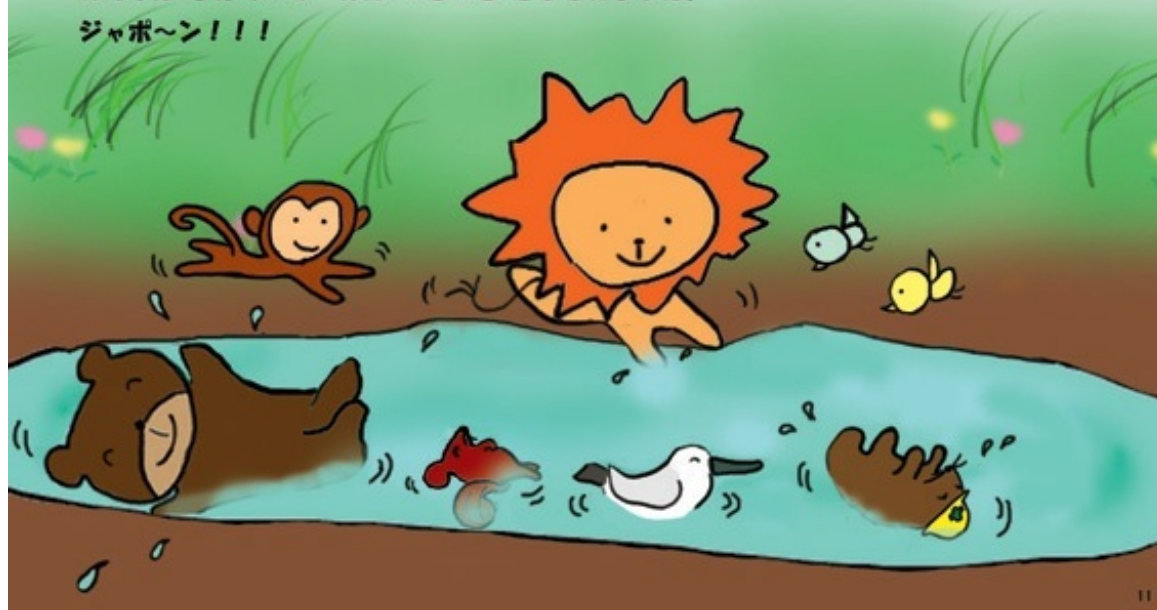


プールの上に しおが たくさん たまって ピエールの あしがとどく
くらいの ふかさに なりました。

さあ、できた！

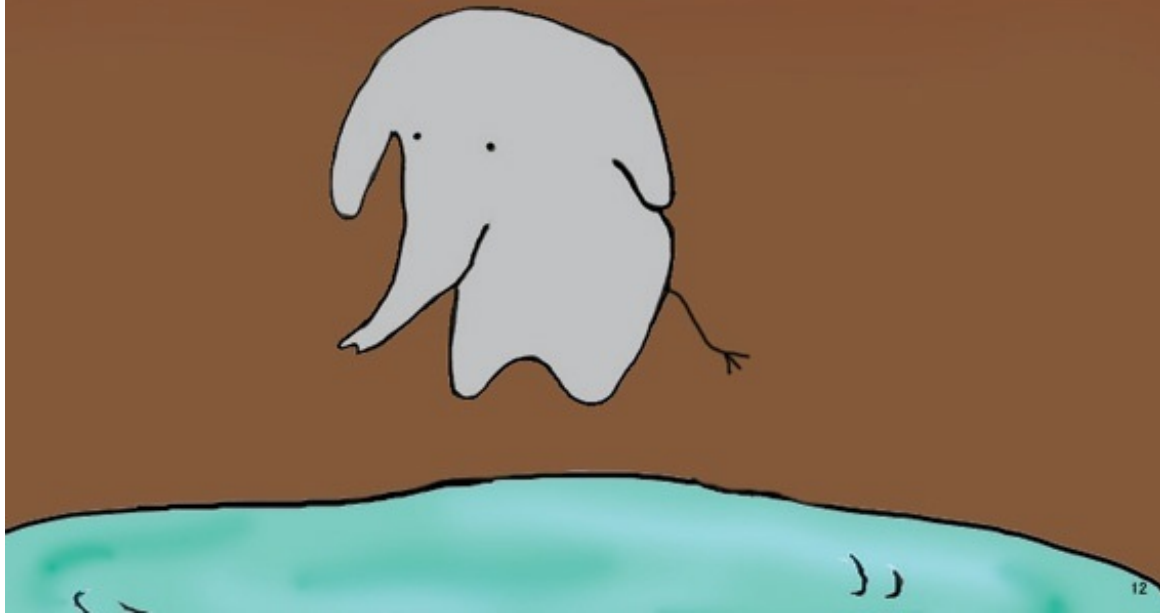
みんなは まほうのプールに つぎつぎ とびこみました。

ジャポ〜ン!!!



そこへ ピエールが やってきました。

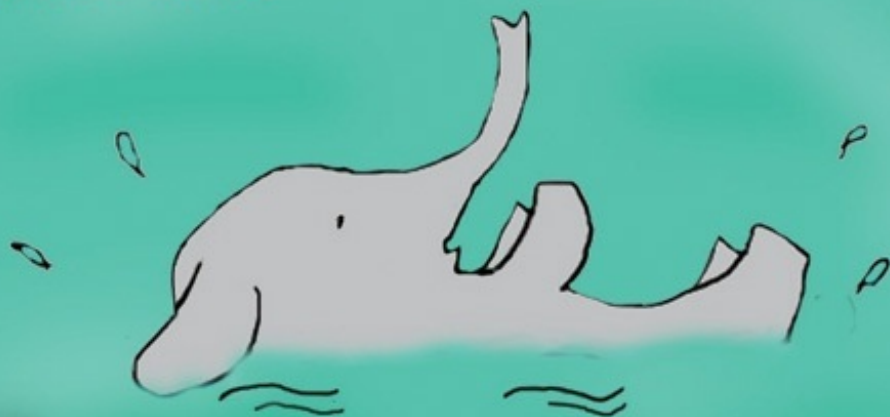
みんなは ピエールに まほうのフールの はなしを しました。



くまのボールが いいました。
「からだの ちからを めくと まほうがかかって
ぶかぶか うけるんだ。ほら、ほくたちみんな ういてるでしょ。
ちからをぬいて ぶかぶか～ってね！
そうしたら ぜったいに おほれないから だいじょうぶだよ。」



ピエールは ポールの ことばを しんじて
からだの ちからを おもいきり めいて まほうのフールへ とびこみました。
ジャポ〜ン！！
「うわっ、ほく ういてる！」



ビールが うまく およげなかったのは からだに ちからが
はいていたからなのです。

みんながつくった まほうのプールは ジェームスがみた うみのように
だれでも ぶかぶか うくようには なりませんでした。

ビールは みんながかけた まほうのおかげで およげるようになったのです。
ちからをめぐと ききめがでる まほうのね。

